

MS&C

株式会社 MS &amp; Consulting

2024年2月期 第2四半期

決算説明資料

## ✓ 業績

- 売上収益 635百万円 前年同四半期比18.8%増
- 営業利益 81百万円 前年同四半期比54.9%増

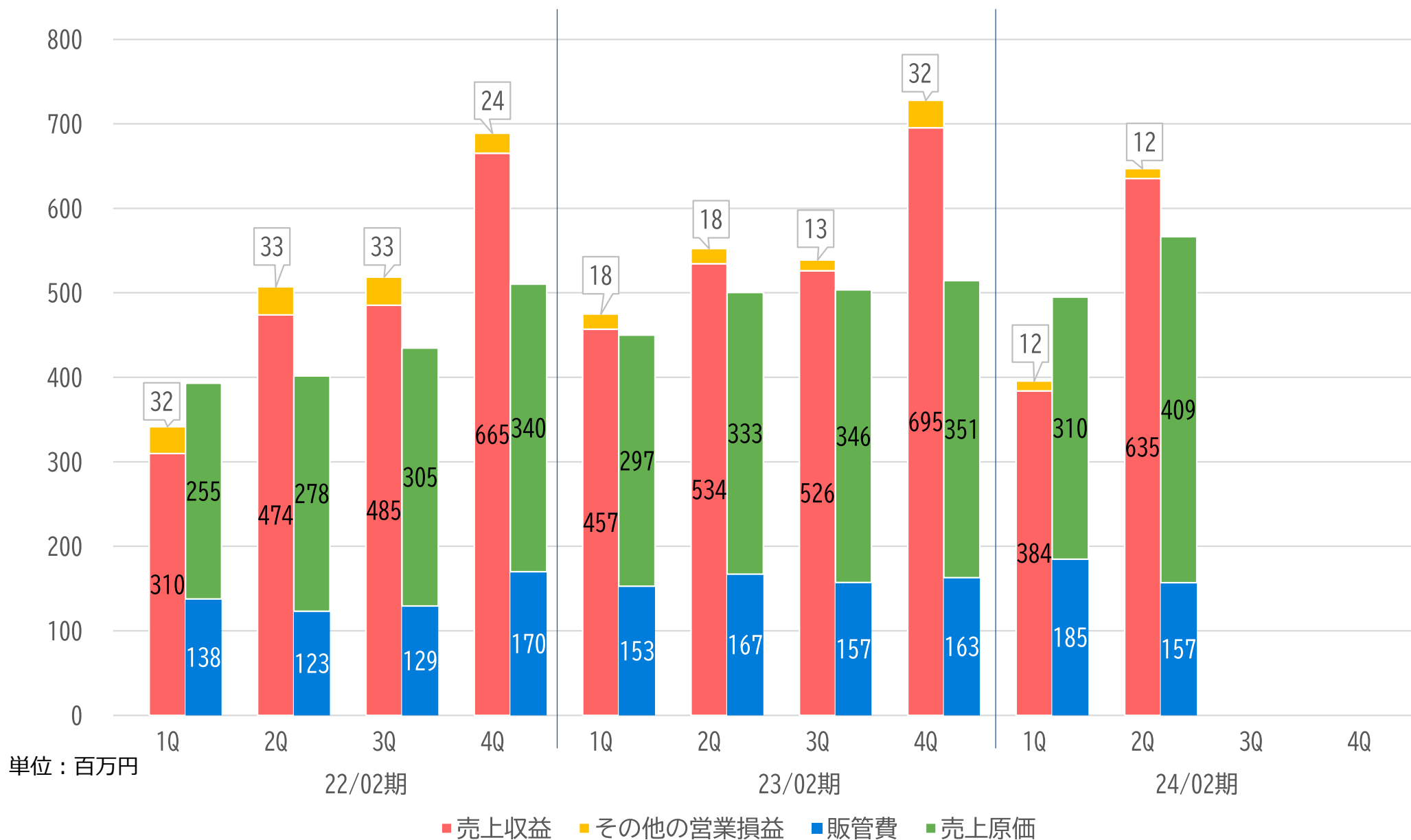
## ✓ 投資

- 前期から継続中の人的投資及びIT投資により、労務費・減価償却費が予定通り上昇
- 第2四半期にオフィス設備の拡充も完了

## ✓ 業績予想

- 2024年2月期上期結果
  - 売上収益 1,019百万円 予想達成率88.0%
  - 親会社の所有者に帰属する当期利益 △13百万円 予想差異△67百万円
- 2024年2月期業績予想は達成の見込み

# 連結P/L(四半期推移)



# 連結P/L(四半期比)

単位：百万円	2024年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比	2024年2月期 第1四半期	前四半期 差異	前四半期 比
売上収益	<b>635</b>	534	101	18.8%	384	251	65.4%
売上原価	△ <b>409</b>	△ 333	△ 76	22.8%	△ 310	△ 99	32.0%
売上総利益	<b>226</b>	201	25	12.2%	74	152	206.0%
販管費	△ <b>157</b>	△ 167	10	-6.0%	△ 185	28	-15.0%
その他の営業損益	<b>12</b>	18	△ 6	-33.7%	12	0	2.5%
営業利益	<b>81</b>	52	29	54.9%	△ 99	180	—
EBITDA	<b>101</b>	72	30	41.6%	△ 78	179	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	<b>52</b>	34	19	56.3%	△ 65	118	—

✓ 前年同期比、売上収益18.8%増、売上総利益12.2%増、営業利益54.9%増

- 売上収益はMSRとSaaSが堅調に推移、コンサルは大幅増
- 売上原価22.8%増、販管費6.0%減、以下が主な要因

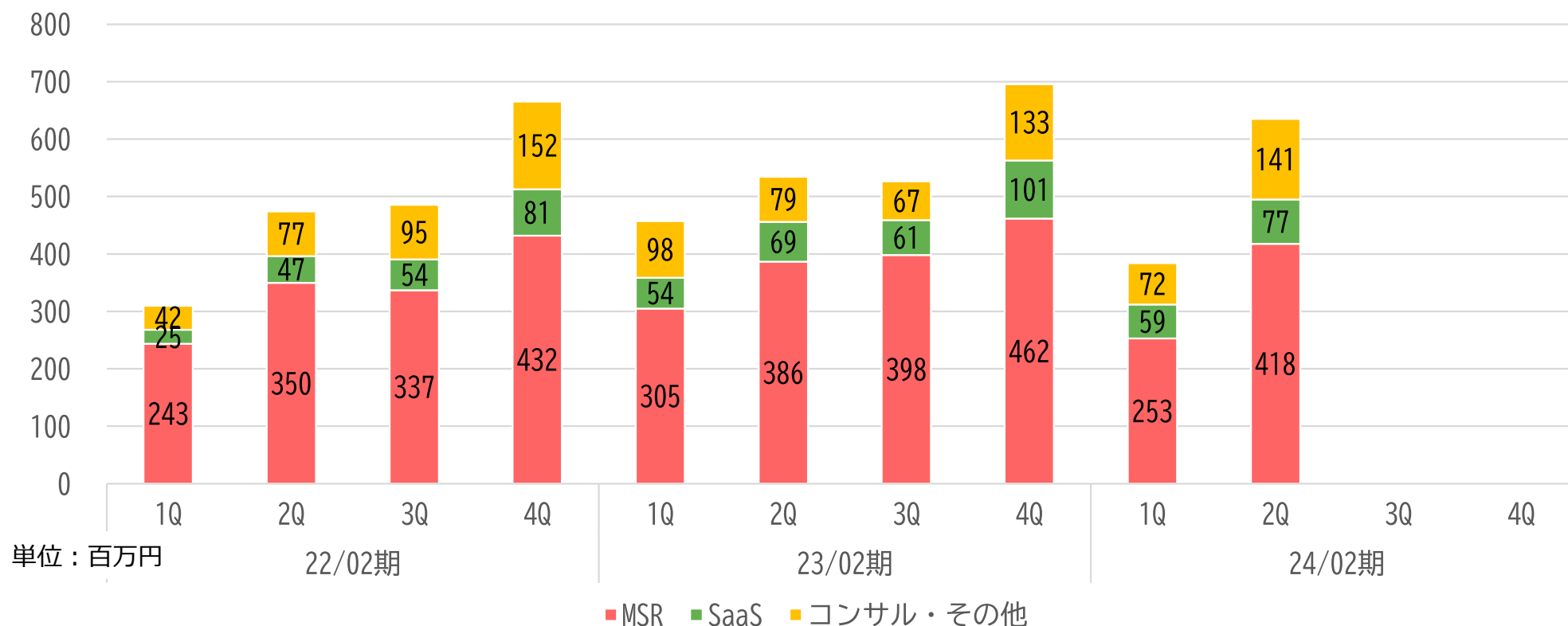
## 【売上原価】

- 調査数増と物価高に伴うモニター謝礼の増加 (+)
- 人員増及び昇給に伴う労務費の増加、IT投資の促進に伴う賃借料の増加 (+)

## 【販管費】

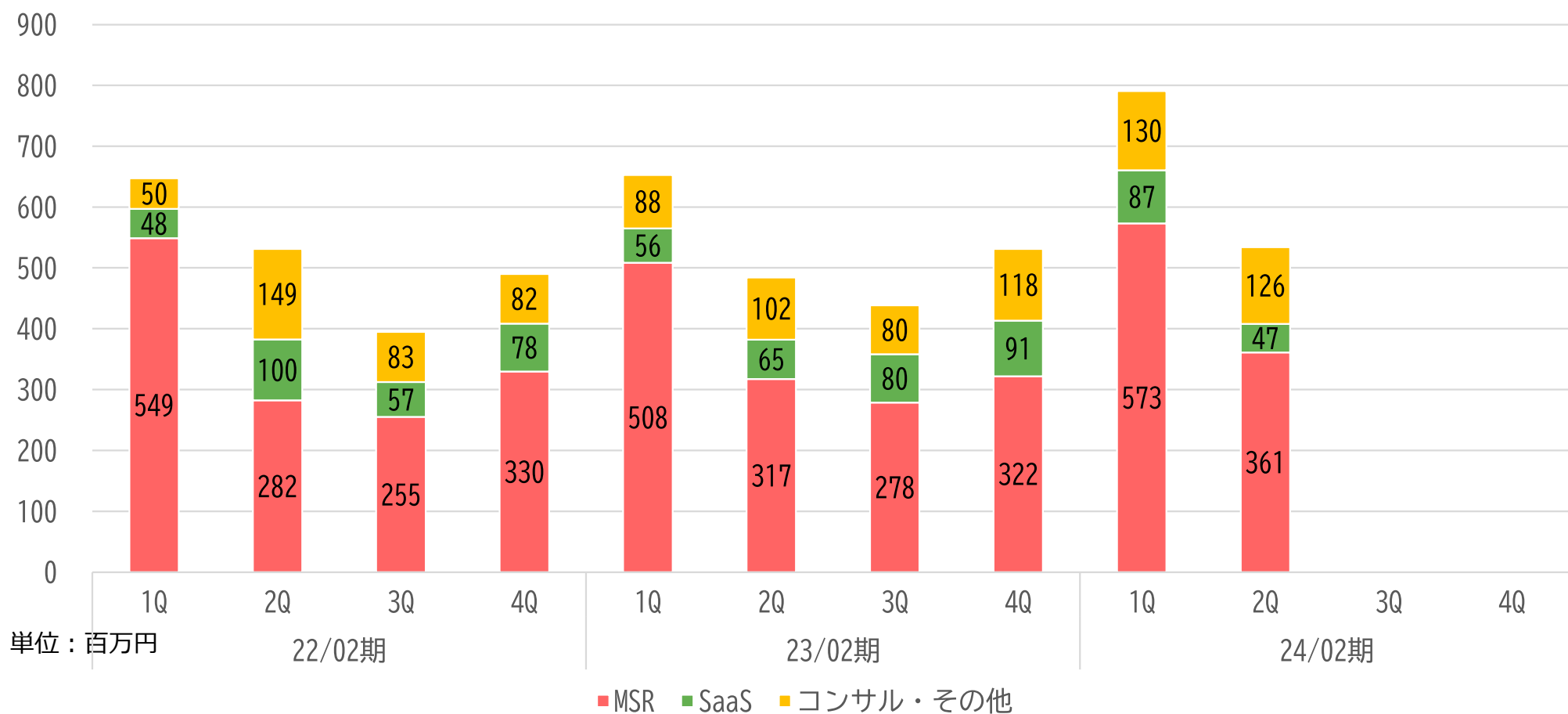
- 広告宣伝費や社内業務の一部外注にかかる報酬の増加 (+)
- 各種コストダウンによる販管費減 (-)

# 連結売上収益の内訳(四半期推移)



- ✓ MSRは一部大手顧客の契約が満了となった一方、過去取引先の調査再開や新規取引先の調査開始、年間調査スケジュール変更要請への対応、海外関連調査の拡大などにより増加
- ✓ SaaSはIT導入補助金の活用や従業員エンゲージメントへの関心の高まりからチームアンケートが拡大、引き続き堅調に推移
- ✓ コンサルは各種補助金等の関連売上の大幅増や新たな成果創出を目指すHR分野において初期顧客のご支援を継続、コストダウンのご支援も徐々に導入が進む

# 国内における受注高の推移



- ✓ 受注高は2Qとしては過去最高水準で着地  
1Qに引き続き順調に推移

# 連結P/L(前年同期比、予想進捗・達成率)

単位：百万円	2024年2月期 第2四半期累計 (実績)	2023年2月期 第2四半期累計 (実績)	前年同期 差異	前年同期 比	2024年2月期 連結会計年度 (予想)	予想 差異	予想 進捗率	2024年2月期 第2四半期累計 (予想)	予想 差異	予想 達成率
売上収益	1,019	992	28	2.8%	2,515	△ 1,496	40.5%	1,159	△ 139	88.0%
売上原価	△ 720	△ 631	△ 89	14.1%	—	—	—	—	—	—
売上総利益	300	361	△ 61	-17.0%	—	—	—	—	—	—
販管費	△ 342	△ 320	△ 22	6.9%	—	—	—	—	—	—
その他の営業損益	23	36	△ 12	-34.4%	—	—	—	—	—	—
営業利益	△ 19	77	△ 96	-124.4%	367	△ 386	—	70	△ 89	—
EBITDA	24	116	△ 92	-79.4%	—	—	—	—	—	—
親会社の所有者に帰属する 当期利益	△ 13	54	△ 67	-123.7%	234	△ 247	—	52	△ 65	—

## ✓ 2024年2月期上期結果

- 売上収益は前年同期比2.8%増の1,019百万円、予想達成率88.0%  
売上収益の内訳は前年同期比MSR△2.5%減、SaaS11.2%増、コンサル・その他17.6%増
- 売上原価及び販管費はほぼ想定通り増加(14.1%増、6.9%増)のため、営業利益は前年同期差異96百万円減の△19百万円

## ✓ 2024年2月期業績予想は達成の見込み

- 予想進捗率は高くないものの、次ページの取り組みにより、予想は達成の見込み
- 通期業績予想に対する売上収益進捗率は40.5%、  
2Qの実績に3Q期初受注残高(国内)を含めた通期業績予想に対する売上収益充足率は71.8%

## ①MSR：再成長軌道へ

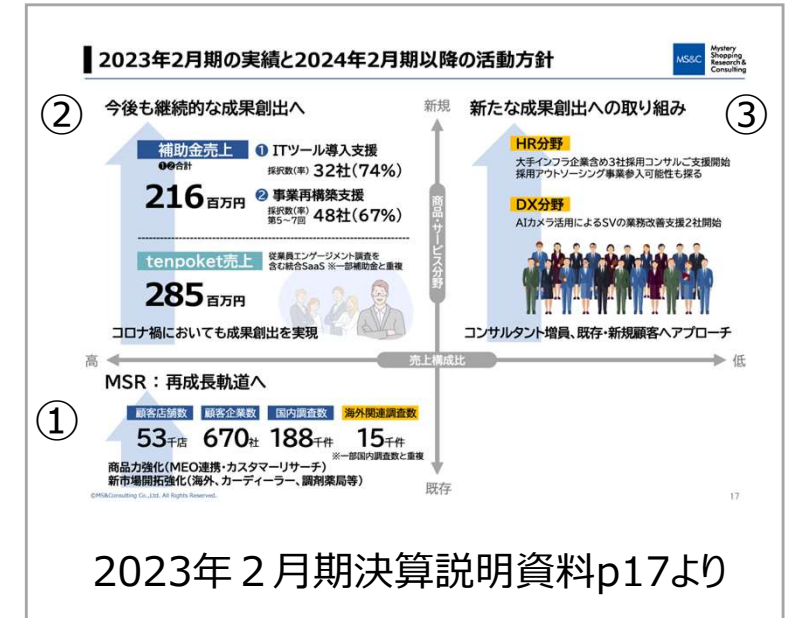
- ✓ 海外関連調査の2Q売上収益は前期2Q比69.9%増の33百万円  
3Q以降も引き続き高成長を目指す
- ✓ 送客 + 調査型サービスは2Qにオフィス設備の拡充も実施、  
3Q以降売上収益の拡大を見込む

## ②継続的な成果創出へ

- ✓ 補助金関連の2Q売上収益は前期2Q比93.5%増の87百万円  
3Qの採択もあり、成長軌道

## ③新たな成果創出への取り組み

- ✓ HR分野
  - 職業紹介事業の許可手続きが10月に完了、採用アウトソーシングのトライアルを開始予定
- ✓ DX分野
  - AIカメラは引き続きマーケティング、来期採用に向けトライアル導入を進める
  - カスタマーリサーチをリニューアル・リリース
- ✓ コストダウン支援
  - 各種コストダウンメニューから顧客ニーズに合わせ積極提案、人気の空調コスト削減はテスト導入89社、内受注済み20社





## 資 産

単位：百万円	2024年2月期	2023年2月期
	第2四半期 (2023年8月31日)	連結会計年度 (2023年2月28日)
現金及び 現金同等物	287	666
営業債権 及びその他の債権	376	468
流動資産合計	770	1,220
のれん	2,224	2,224
非流動資産合計	2,566	2,514
資産合計	3,336	3,733

## 負債及び資本

単位：百万円	2024年2月期	2023年2月期
	第2四半期 (2023年8月31日)	連結会計年度 (2023年2月28日)
社債及び借入金	50	69
営業債務 及びその他の債務	514	502
流動負債合計	602	727
社債及び借入金	0	0
非流動負債合計	29	43
資本金	61	57
資本剰余金	2,024	2,021
利益剰余金	1,047	1,099
資本合計	2,705	2,963
負債及び資本合計	3,336	3,733

- ✓ 上半期の営業CF△40百万円、投資CF△92百万円、財務CF△248百万円により、現金及び現金同等物の残高は前期末から380百万円減少、2QのCF増減については次ページのとおり
- ✓ 売掛金の回収により、営業債権及びその他の債権が減少
- ✓ 金融機関からの長期借入金は返済完了、コミットメントライン契約に基づく短期借入50百万円を実施

単位：百万円	2024年2月期 第2四半期	2023年2月期 第2四半期	前年 同四半期差異	前年 同四半期比	2024年2月期 第1四半期	前四半期 差異	前四半期 比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 101	△ 144	43	—	61	△ 161	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 65	△ 22	△ 43	—	△ 27	△ 38	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 77	△ 50	△ 27	—	△ 171	94	—
現金及び現金同等物の期末残高	287	786	△ 499	-63.5%	532	△ 246	-46.1%

## ✓ 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 税引前四半期損益80百万円の計上、営業債権の残高が135百万円増加、その他負債の残高が34百万円減少等した結果、前年と比較して43百万円収入増となり、当2Qの営業活動によるキャッシュ・フローは101百万円の支出

## ✓ 投資活動によるキャッシュ・フロー

- システム開発費用の支出14百万円に加えて、オフィス改装に係る什器備品購入による支出28百万円が発生したため、前年と比較して43百万円の支出増となり、当2Qの投資活動によるキャッシュ・フローは65百万円の支出

## ✓ 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 短期借入金50百万円の増加、長期借入返済14百万円、リース負債の返済8百万円、自己株式の取得による支出92百万円等が発生したため、前年と比較して27百万円支出増となり、当2Qの財務活動によるキャッシュ・フローは77百万円の支出

## ● 配当の基本方針

- ✓ 当社の利益配分につきましては、株主の皆様に対する安定的かつ継続的な利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置付けた上で、将来の事業の発展と経営基盤の強化のための内部留保の充実と経営成績等を勘案し、IFRS(連結)の配当性向20%、日本基準(単体)の配当性向30%を目安として、配当を実施することを基本方針としております。
- ✓ また、中間配当及び期末配当の年2回の配当を実施する方針としております。

## ● 本中期経営計画期間中(2024年2月期まで)の株主還元基本方針

- ✓ 本中期経営計画期間中は、上記配当の基本方針を据え置く一方、累計総還元性向100%(日本基準・単体)を目指し、配当と合わせて自己株式の取得を進めることを、株主還元の基本方針としております。

(注)本中期経営計画…2019年5月9日ならびに5月22日に開示した中期経営計画

## ● 中間配当及び期末配当

- ✓ 2024年2月期の中間配当は1株当たり9円、期末配当予想は1株当たり9円としております。

(注) 期末配当は、2024年4月に開催予定の当社取締役会の決議をもって正式に決定・実施となります。

## 免責事項

- 本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的として、株式会社MS&Consulting（以下「当社」という。）が作成したものであり、いかなる有価証券の売買の勧誘を目的したものではありません。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しておりますが、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っており、またこれを保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身の責任とご判断においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

## 将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。